

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

豊後大野市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

大分県豊後大野市

### 3 地域再生計画の区域

大分県豊後大野市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の人口推移をみると、1950年(旧町村合併前合計)の81,707人から一貫して減少を続け、2015年には36,584人となった。これは1950年と比べ約45%の水準である。増減率(5年間)をみると、高度成長期には10%超の減少率と大幅な人口減少がみられ、近年は4～5%の減少率で推移してきたが、2015年には減少率が7%を超え、減少率が高まっている。住民基本台帳によると2022年1月には34,685人となっている。今後の人口動向を国立社会保障・人口問題研究所の推計値からみると、2020年以降減少率(5年間)が7～10%程度に拡大し、本市の人口は急速に減少していく見通しとなっており、2030年には3万人を割り、2065年には13,874人(2015年比62.1%減)になると推計されている。

本市の人口の自然動態については、死亡数が出生数を上回る自然減が長年続いている。また、出生数は横ばい傾向で推移する一方、死亡数は高齢化を背景に緩やかな増加傾向にあり、自然減は直近3年では500人前後となっている(2019年には487人の自然減)。一人の女性が生涯に産む子供の平均人数を示す合計特殊出生率は、長らく大分県平均を大幅に上回って推移し2011年には1.77まで回復したが、2012年には1.55、2013年には1.53、直近では1.50まで低下し、近年は県内市町村で下位に位置している。また、結婚の状況については、男女とも未婚率は年々高まり晩婚化が進行しており、特に男性の未婚率は県平均を上回っている。

本市の人口の社会動態については、転入数、転出数ともに直近5年では概ね横ば

いで推移している。しかし、転出数が転入数を上回る社会減が続き、特に 20～24 歳の社会減が大きく、100 人を超える転出超が続いている。これは、大学進学や就職による若い世代の人口流出が多く、この流出を解消しなければ人口減少に歯止めをかけることはできない（2019 年には 218 人の社会減）。

このまま人口減少が進むと、担い手不足や地域コミュニティの衰退といった課題が生じる恐れがある。

これらの課題に対応するため、若者が結婚や出産、子育てに希望を持つ環境をつくることにより出生率の向上を図り、働く場や魅力ある「まち」をつくることにより人口の社会減少に歯止めをかける。

なお、取組にあたっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標 1 「豊かなくらしとしごとを創る」
- ・基本目標 2 「豊かなひとを育む」
- ・基本目標 3 「豊かな自然・地域を未来へつなげる」

#### 【数値目標】

| 5-2の<br>①に掲げ<br>る事業 | K P I    | 現状値<br>(計画開始時点) | 目標値<br>(2024年度) | 達成に寄与<br>する地方版<br>総合戦略の<br>基本目標 |
|---------------------|----------|-----------------|-----------------|---------------------------------|
| ア                   | 就業人口     | 17,214人         | 18,242人         | 基本目標①                           |
| ア                   | 新卒者の就職者数 | 26件             | 29件             | 基本目標①                           |
| イ                   | 合計特殊出生率  | 1.50            | 1.70            | 基本目標②                           |
| ウ                   | 社会増減     | △218人           | △36人            | 基本目標③                           |

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

## ① 事業の名称

豊後大野市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 豊かなくらしとしごとを創る事業

イ 豊かなひとを育む事業

ウ 豊かな自然・地域を未来へつなげる事業

## ② 事業の内容

ア 豊かなくらしとしごとを創る事業

農業については、農産物等の加工品のブランド認証を推進し、特産品の情報発信を強化する。さらに、企業参入の推進、スマート農業の推進および6次産業化の推進により農産物の生産・販路拡大に向けて取り組む。

企業誘致、創業支援については、地場企業への支援や情報関連事業者への補助等を行い地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図る。また、関係機関と連携して窓口相談やセミナー開催などに取り組む。

さらに、ロボット技術やICTを活用したスマート農業の推進や、自立支援ケアマネジメントシステムの導入等、先端技術を活用して生産性向上等の取組を支援する。

### 【具体的な事業】

- ・ 異業種法人等企业参入の推進
- ・ スマート農業の推進
- ・ 先端設備等の導入に取り組む企業に対する支援
- ・ 個性ある個店への伴走型支援
- ・ 「テレワーク」の推進 等

イ 豊かなひとを育む事業

企業等と連携して、女性が安心して働き続けることができる労働環境の整備に取り組む。また、地域等において活動する女性の支援・育成に努める。

結婚・妊娠・出産・子育ての「切れ目のない支援」を行い、子どもを生き育てやすい環境づくりを行う。また、キャリア教育の推進等教育環境の充実や地元高校への支援等により、本市の将来を担う子どもを育て

る。

高齢者の活躍を推進するため、自立支援ケアマネジメントシステムの導入等により、高齢者が生涯現役を目指し、健康で生きがいをもって暮らしていけるような取組を強化する。

他出子等の関係人口の創出・拡大に向けた取組により、市民と市外の人材による地域の担い手づくりを推進する。

#### 【具体的な事業】

- ・市内の独身者の結婚促進・婚活サポーターの育成
- ・多様な保育サービスの充実
- ・小中一貫教育校設置の推進
- ・大分県立三重総合高等学校への支援
- ・高齢者の有償ボランティアや就労の推進
- ・二拠点居住による新しいライフスタイルの提供 等

### ウ 豊かな自然・地域を未来へつなげる事業

豊後大野市の地域資源を保護し、自然と共生した持続可能な発展のための各種事業に取り組む。

本市の魅力や情報を積極的に発信するとともに、空き家バンクや移住補助金等の活用により移住・定住を促進する。

小規模集落の維持・活性化に向け、地域を支える人づくりやコミュニティづくり、集落外から地域を支える仕組みづくりを行うなど、総合的に支援する。

大分都市広域圏ビジョンに基づき、構成市町村との連携・ネットワーク化を図り、市民サービスの向上を目指す。

#### 【具体的な事業】

- ・体験型自然教育や自然保護思想の啓発等の自然教育の推進
- ・ウェブサイトやSNSを活用した地域の魅力的な情報発信と情報拡散の取組
- ・地域コミュニティの集いの場の環境整備
- ・自治会等による他出子の組織化
- ・幹事会以下7つの専門部会における広域的課題に対する取組 等

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））  
4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安  
10,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）  
毎年度6月までに担当者による内部評価および外部有識者による前年度の効果検証を行い、次年度以降の取組方針を決定する。検証後は、市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間  
2021年4月1日から2025年3月31日まで

### 5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置  
該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組  
該当なし

## 6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで